

大会第1日 [5月15日(水)] 10:00~11:30 専門分科会

A 会場

「第一期水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W1)による全球水循環観測」

座長 : 青梨 和正 (気象研)

- A101 沖 大幹 (東大生産研) 第1期水循環変動観測衛星による地球物理量観測について
- A102 可知 美佐子 (JAXA/EORC) GCOM-W1のデータ提供とその利用について
- A103 小池 俊雄 (東大院工) 衛星搭載マイクロ波放射計AMSR2による陸域水循環観測
- A104 青梨 和正 (気象研) 大気マイクロ波放射伝達特性とマイクロ波放射計データからの大気物理量推定
- A105 佐藤 芳昭 (気象庁数値予報) 気象庁の数値予報システムを用いたGCOM-W1/AMSR2データの品質調査と利用実験
- A106 日原 勉 (東海大海洋) GCOM-W1 Geophysical data の評価
- A107 富田 裕之 (名大地球水循環) 黒潮続流域における海上現場観測データを用いた GCOM-W1/AMSR2 データの検証

総合討論

大会第1日 [5月15日(水)] 10:00~11:30 口頭発表

B 会場

気候システム I

座長 : 若月 泰孝 (筑波大院生命環境)

- B101 今田 由紀子 (東大大気海洋研) 特異値分解解析を用いたGCM季節予測のダウンスケーリング
- B102 若月 泰孝 (筑波大院生命環境) 気候差分ダウンスケーリング法の開発と関東域気候実験
- B103 森岡 優志 (JAMSTEC/RIGC) 関東地方の熱中症と気候変動の関係
- B104 大橋 唯太 (岡山理大生物地球) 数値モデルWRF-CMBEMを用いた東京23区における屋外の熱中症ハザード・リスクの数値シミュレーション
- B105 藤部 文昭 (気象研) 日本における降水量の極値パラメーターの分布特性
- B106 草薙 浩 (ウェザー研究会) 365日気候グラフの主成分分析—日平均気温グラフ(近畿・北海道)の共分散と相関行列法の比較—

気象教育

座長 : 若月 泰孝 (筑波大院生命環境)

- B107 加藤 内藏進 (岡大・教育・理科) 暖候期の降水特性の季節的变化と季節感に関する学際的授業の取り組み (音楽や美術の鑑賞・表現活動との連携)
- B108 草薙 浩 (ウェザー研究会) 気温図と四季気温マップ
- B109 名越 利幸 (岩大教育) 気象庁DVD-NHMを用いた中学校理科での数値予報の試み—岩手大学教育学部附属中学校での授業実践研究を通して—

大会第1日 [5月15日(水)] 10:00~11:30 口頭発表

C 会場

中層大気

座長 : 土屋 主税(東大院理)

- C101 今井 弘二 (JAXA) SMILESが捉えた日食時の中層大気の変動について
- C102 塩谷 雅人 (京大生存研) SMILESによる中層大気化学と力学についての成果概要 - III
- C103 直江 寛明 (気象庁環境気象) オゾンホール規模の年々変動と波動活動
- C104 井上 誠 (環境研) 成層圏QBOとアジア域における対流圏循環との関係—秋季を中心とする季節変動に着目して—
- C105 増田 陽洋 (東大院理) 高解像度GCMを用いた中間圏渦位増大イベントの解析
- C106 木下 武也 (NICT) アラスカ, ポーカークラットMFレーダーで観測された中間圏の重力波エネルギーの日内変動に関する研究
- C107 土屋 主税 (東大院理) AIRS高解像度温度データを用いた南半球冬季の成層圏における重力波の伝搬特性の解析
- C108 佐藤 薫 (東大院理) Program of the Antarctic Syowa MST/IS Radar (PANSY) - after one year continuous operation since 2012 -

大会第1日 [5月15日(水)] 10:00~11:30 専門分科会

D 会場

「液体炭酸・ドライアイス・ヨウ化銀・散水人工降雨法の比較および今後の発展方向」

座長：真木 太一（筑波大生命環境）

- D101 脇水 健次（九大院） 寒候期の薄い積雲を対象とした航空機による雲底液体炭酸撒布実験
- D102 西山 浩司（九大工） 氷晶の成長及び軌跡推定モデルを用いた人工降雨実験の評価
- D103 遠峰 菊郎（防衛大） 硫黄島における人工降雨実験

座長：脇水 健次（九州大院）

- D104 真木 太一（筑波大生命環境） 東京都三宅島・御蔵島上空での液体炭酸散布による人工降雨
- D105 守田 治（福大） 2012年2月三宅島周辺での人工降雨実験

A 会場

降水システム I

座長 : 石原 正仁 (京大極端気象適応社会教育ユニット)

- A151 石原 正仁 (京大極端気象適応社会教育ユニット) 2012年5月6日北関東竜巻に関する気象状況と竜巻
- A152 益子 渉 (気象研) 2012年5月6日につくば市に被害をもたらしたスーパーセル竜巻の発生機構
- A153 山路 実加 (防衛大地球海洋) 2012年5月6日関東地方で発生した積乱雲群の落雷特性
- A154 佐々 浩司 (高知大理) 画像によるつくば竜巻の評価
- A155 藤田 彬 (新潟大理) 新潟市で発生した竜巻の事例解析
- A156 加藤 亮平 (気象研/アルファ電子) 庄内平野で観測された渦の上陸時の変質 —渦の傾き増加のメカニズム—
- A157 本田 匠 (九大院・理) 気団境界がメソサイクロン発達に及ぼす影響
- A158 中井 専人 (防災科研・雪氷) SCONE2013 — 新潟県域における降雪粒子特性と大気成層の観測
- A159 本田 明治 (新潟大理) 冬季日本海側に湿雪をもたらす降水雲の鉛直構造の観測
- A160 川島 正行 (北大低温研) 幅の広い寒冷前線降雨帯の形成における融解の効果
- A161 加藤 雅也 (名大地球水循環) 停滞した団塊状降水システムの構造と強化過程

座長 : 吉岡 真由美 (東北大院理)

- A162 加藤 輝之 (気象研) 平成24年7月九州北部豪雨の発生要因
- A163 石原 正仁 (京大極端気象適応社会教育ユニット) 2012年8月14日宇治大雨をもたらした降水システム
- A164 道本 光一郎 (ウェザー・サービス) 航空機被雷を防止するための予測法に関する一考察
- A165 美山 透 (JAMSTEC/RIGC) 2012年梅雨期における黒潮続流域3隻同時集中観測の大気再現実験
- A166 川合 義美 (JAMSTEC/RIGC) 2012年梅雨期における黒潮続流水温前線上の集中観測
- A167 吉岡 真由美 (東北大院理) 2012年梅雨期における黒潮続流域3隻同時観測時の海洋に対する大気応答—海洋結合・非結合モデルを用いた比較実験—
- A168 佐藤 和敏 (弘前大院理工) 黒潮が5月の梅雨前線へ及ぼす影響 -観測と数値実験による研究-
- A169 万田 敦昌 (長崎大水・環) 海面水温が梅雨末期の集中豪雨に及ぼす影響 平成24年7月九州北部豪雨の事例解析
- A170 栃本 英伍 (九大院・理) 梅雨前線帯の低気圧の発達過程—東西一様な環境場を用いた理想化実験—
- A171 佐藤 友徳 (北大院地球環境) 季節内振動によるメガラヤの降水極大と日変化
- A172 平田 英隆 (九大院理) 台風と太平洋高気圧の相互作用が日本の天候に与える遠隔影響

大会第1日 [5月15日(水)] 13:30~17:00 専門分科会

B 会場

「エアロゾルの気候と大気環境への影響」

趣旨説明

座長 : 竹川 暢之(東京大先端研)

- B151 金谷 有剛 (JAMSTEC/RIGC) エアロゾルの観測: モデル評価に資する通年観測と先端的計測
- B152 中山 智喜 (名大STE研) 名古屋におけるエアロゾル光吸収特性の観測: レンズ効果およびブラウンカーボンの寄与
- B153 持田 陸宏 (名大院環境) HTDMAおよびCCNカウンタによる大気エアロゾル粒子の吸湿性・雲凝結核活性の測定
- B154 茂木 信宏 (東大理) ブラックカーボンの航空機観測から実証されたエアロゾルの湿性除去効率の粒径依存性
- B155 中島 孝 (東海大) 受動型イメージャーから観る雲・エアロゾル・放射
- B156 岡本 創 (九大応力研) 衛星搭載アクティブセンサによる雲研究: 現状と今後の展開について

休憩 (10分)

座長 : 竹村 俊彦(九大応力研)

- B157 松井 仁志 (東大院・理) 直接・間接効果の高精度推定に向けた詳細エアロゾルモデルの開発と検証
- B158 竹村 俊彦 (九大応力研) 数値モデルを用いたエアロゾルの気候影響評価の現状と今後の展開
- B159 弓本 桂也 (気象研) データ同化を用いたエアロゾルの不確実性低減への取り組み
- B160 野口 真希 (JAMSTEC/RIGC) 海洋生態系とエアロゾルの物質循環相互作用
- B161 伊藤 彰記 (JAMSTEC/RIGC) 大気質改善に対する海洋への可溶性鉄供給量変化の将来予測

総合討論

大会第1日 [5月15日(水)] 13:30~17:00 専門分科会

C 会場

「気象庁55年長期再解析（JRA-55）～JRA-25からの発展と日本における長期再解析の展望～」

趣旨説明

座長：岩崎 俊樹（東北大院理）

- C151 大野木 和敏（気象庁気候情報） 長期再解析JRA-55の紹介
- C152 小林 ちあき（気象研） 従来型観測データのみを用いた長期再解析(JRA-55C)の評価(中間報告)
- C153 遠藤 洋和（気象研） JRA-55大気モデルによるAMIP実験
- C154 太田 行哉（気象庁気候情報） JRA-55で使用する従来型観測データ
- C155 古林 慎哉（気象庁気候情報） JRA-55における衛星観測データの利用とインパクトについて
- C156 小野田 浩克（気象庁気候情報） JRA-55におけるGNSS掩蔽観測データの利用について

休憩

座長：釜堀 弘隆（気象研）

- C157 原田 やよい（気象庁気候情報） JRA-55の熱帯における降水分布・赤道波の再現性評価報告
- C158 原田 やよい（気象庁気候情報） JRA-55の成層圏循環の再現性評価報告
- C159 釜堀 弘隆（気象研） JRA-55ファミリーにおける熱帯低気圧表現
- C160 早崎 将光（九大院理） JRA55を用いた北太平洋の低気圧活動
- C161 筒井 純一（電中研） JRA-55長期再解析に見出される気温変動の空間構造
- C162 遠藤 伸彦（JAMSTEC/RIGC） インドシナ半島の秋季におけるJRA-55降水予報値の評価
- C163 杉 正人（JAMSTEC） 熱帯対流圏安定度の長期トレンド

総合討論

大会第1日 [5月15日(水)] 13:30~17:00 専門分科会

D 会場

「気候研究のための気象観測データベースの発展」

座長 : 藤部 文昭(気象研)

- D151 鈴木 博人 (JR東日本防災研) 鉄道における降積雪深観測とデータベース化
- D152 杉本 志織 (北大院地球環境) 釧路地方気象台にて観測された長期霧日数データの利用
- D153 松本 淳 (首都大) 東南アジアにおける20世紀前半以前の気候データによる長期気候変化解明
- D154 谷田貝 亜紀代 (京大生存研) IUGONET*メタデータベース
- D155 久保田 尚之 (JAMSTEC) 台風の長期変化解明に向けた20世紀前半の西部北太平洋域の台風経路の復元

休憩

座長 : 松本 淳(首都大)

- D156 清野 直子 (気象研) 都市における下向き赤外放射量の観測
- D157 岡田 牧 (筑波大院生命環境) 公園緑地に適応させた黒球温度推定式の導出
- D158 山本 哲 (気象研) 世界気象機関 (WMO) 地上観測設置環境分類の導入
- D159 志藤 文武 (気象研) 観測露場内で生じる気温差の通年観測 -東京管区気象台(千代田区大手町)の場合-
- D160 熊本 真理子 (測器センター) 周辺樹木が気温観測に及ぼす影響の屋外測定による評価II - 風の遮蔽物 (防風ネット) が気温観測に及ぼす影響 -
- D161 池田 亮作 (筑波大計算科学) アスファルト道路が気温観測に与える影響のLESによる再現実験

総合討論

A 会場

降水システムII

座長 : 藤原 忠誠 (気象研)

- A201 山田 芳則 (気象研) 2012年9月4日に東京に出現した孤立型積乱雲の構造
- A202 出世 ゆかり (防災科研) 夏季積乱雲における降水コアの挙動と地上降雨との対応
- A203 藤原 忠誠 (気象研) TOMACS観測期間中に首都圏稠密観測網で捉えた孤立積乱雲の発生過程:
2012年7月26日の事例
- A204 楠 研一 (気象研) 非降水エコーの出現特性-季節変化-
- A205 清水 慎吾 (防災科研) 自動セル検出・追跡アルゴリズム(AITCC)の精度評価
- A206 鷹野 敏明 (千葉大院工) 積乱雲発生初期の内部運動ドップラ観測
- A207 小林 文明 (防大地球) 房総半島における積乱雲発生初期の観測
- A208 佐藤 晋介 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーによる局地的大雨の3次元詳細観測
- A209 平野 裕基 (阪大院工) X帯フェーズドアレイレーダの比較検討
- A210 嶋村 重治 (阪大院工) Ku帯広帯域レーダネットワークを用いた降雨減衰補正手法の検討
- A211 佐藤 英一 (気象研) Kuバンドレーダーを用いた降水コアの解析
- A212 星野 俊介 (高層台) 2012年に東京都小金井市で行われた集中観測で観測された乱流事例

B 会場

熱帯大気

座長 : 那須野 智江 (JAMSTEC)

- B201 角 ゆかり (名大院環境) 衛星観測データを用いた準二日振動の解析: 水蒸気変動と非断熱加熱プロセス
B202 堀之内 武 (北大院地球環境) 赤道付近の季節平均降水量への混合Rossby重力波の影響
B203 林 未知也 (九大院理) 加熱の鉛直構造に依存した熱帯不安定擾乱の特性の再考
B204 金丸 佳矢 (名大院環境) 熱帯海面熱収支に関連する雲降水の時空間変動について
B205 那須野 智江 (RIGC, JAMSTEC) CINDY2011/DYNAMO観測期間のMJO事例のオンセット過程
B206 竹見 哲也 (京大防災研) 熱帯海上における積雲活動と環境場との相互作用
B207 佐藤 正樹 (東大大気海洋研) NICAM水惑星実験による熱帯対流システムの構造
B208 伍 培明 (AMSTEC/RIGC) MJOと赤道越え冬季アジアモンスーンによるジャカルタ豪雨
B209 梶川 藍 (京大防災研) インド亜大陸北東部における夏季モンスーン期の降水変動
B210 萩野 慎也 (JAMSTEC) 白鳳丸太平洋上ゾンデ観測で捉えられた2012年12月の寒気吹き出し
B211 アクター ファティマ (京大防災研) Severe Local Storms of Bangladesh and adjoining Indian Territory: A study of Drylines

C 会場

気象予報

座長 : 上清 直隆 (気象研)

- C201 宮地 哲朗 (京大防災研) 2009年10月に発生したAtmospheric Riverの予測可能性
- C202 榎本 剛 (京大防災研) 擬2次元実験による静力学 σ 座標非静力学コアの検証
- C203 露木 義 (気象研) 決定論的予測可能性の必要条件と変分法データ同化 (第2報)
- C204 近藤 圭一 (筑波大院生命環境) マルチスケール構造を考慮したアンサンブルデータ同化手法
- C205 石橋 俊之 (気象研) 複数のOSSE手法による仮想観測システムの評価
- C206 上清 直隆 (気象研) 主成分を利用したAIRSデータによる気温・水蒸気プロファイルのリトリバル 予報誤差感度による観測誤差調整
- C207 大塚 道子 (気象研) NHM予報値を利用した高頻度衛星観測による大気追跡風 (AMV) の特性調査
- C208 青梨 和正 (気象研) 雲解像モデル用のNeighboring Ensembleに基づく変分法同化法 (その1)
- C209 折口 征二 (気象研) 雲解像アンサンブルによる2012年台風第15号の3重眼再現実験
- C210 川畑 拓矢 (MRI) JNoVAアジョイントモデルを用いた新しいNHM-4DVARの開発

D 会場

物質循環 I

座長：芳村 圭（東大大気海洋研）

- D201 檜村 博基 (宇宙研) 惑星大気大循環モデルDCPAMのセミラグランジュ法物質移流スキーム～変則エルミート5次補間とarcsine非負フィルタ～
- D202 芳村 圭 (AORI) LETKFとIsoGSMを用いた水同位体比データ同化実験
- D203 佐伯 田鶴 (環境研) Inverse Modeling of CO₂ Fluxes Using GOSAT Data and Multi-year Ground-based Observations
- D204 井上 誠 (環境研) TCCONデータを用いたGOSATプロダクトの検証—バイアスのパラメータ依存性とその補正手法の検討—
- D205 今須 良一 (東大大気海洋研) 領域輸送モデルを用いた関東域からの二酸化炭素排出量のインバージョン解析
- D206 内野 修 (環境研) ライダーによる下部対流圏オゾン観測と化学気候モデルとの比較
- D207 渡邊 明 (福島大理工) 放射性物質降下量の変動特性について
- D208 鶴田 治雄 (東大大気海洋研) β線吸収式大気浮遊粒子状物質自動測定機の使用済みテープ状ろ紙の放射性核種分析 (その1) --福島市内と茨城県南西部での大気中Cs-134とCs-137濃度の2011年3月15-23日の時空間変化--

A 会場

雲物理

座長 : 久芳 奈遠美 (東大大気海洋研)

- A301 田尻 拓也 (気象研) 広範なエアロゾル種の雲核・氷晶核能に関する研究 (その3)
- A302 張 澤鋒 (気象研) AgI粒子の物理化学特性の調査研究
- A303 山下 克也 (気象研) ダスト粒子の雲粒・氷晶発生を扱う詳細雲微物理ボックスモデルの開発
- A304 橋本 明弘 (気象研) 吸湿性粒子最適シーディング法に関する数値実験
- A305 前島 康光 (気象研) 小河内集水域の通年シミュレーションによるシーディング有効雲の同定解析
- A306 馬場 雄也 (地球シミュレータ) 雲水および雨のパラメタリゼーションによるスコールライン構造の変化
- A307 石元 裕史 (気象研) MPS法を用いた氷粒子の融解シミュレーション
- A308 久芳 奈遠美 (東大大気海洋研) 衛星観測データの雲微物理学的解析—ハイブリッド雲微物理モデルによる数値実験—
- A309 岩渕 弘信 (東北大院理) MODIS赤外バンドから導出した巻雲の特性の全球分布
- A310 西川 将典 (名大地球水循環) 2台のKa帯レーダによる対向観測から得られた降雪粒子のk-Ze関係と地上観測データとの比較
- A311 小西 啓之 (大阪教育大) 降雪量推定のための降雪粒子の粒径と落下速度の観測

B 会場

台風

座長 : 佐藤 尚毅 (東京学芸大)

- B301 高村 奈央 (京大防災研) 台風が温帯低気圧化後急速に再発達するときの構造と環境場
- B302 吉田 龍二 (理研計算科学) 北西太平洋上の台風発生に対するMadden-Julian Oscillationの影響
- B303 佐藤 尚毅 (東京学芸大) 台風の中心付近での海面水温の低下が台風に与える影響
- B304 大野 知紀 (東大大気海洋研) 対流圏界面付近に形成される台風の温度偏差の形成および維持について
- B305 豊嶋 紘一 (名大院環境) 熱帯低気圧の降水非軸対称性に関する衛星データを用いた研究: 強度との関係
- B306 武田 一孝 (東大大気海洋研) 積雲対流群から発生・発達する台風に関する数値的研究
- B307 山岬 正紀 (JAMSTEC) 対流圏中層のメソ対流渦と台風発生の数値実験
- B308 坪木 和久 (名大地球水循環) 経験的的最大強度を用いた熱帯低気圧強度の将来変化予測
- B309 坪木 和久 (名大地球水循環) 気象庁ベストトラック強度データの経験的補正と強い台風の経年変化

C 会場

観測手法

座長 : 古澤(秋元) 文江 (名大地球水循環)

- C301 荒木 健太郎 (気象研) 高精度ビン法雲微物理モデルの開発
- C302 荒木 健太郎 (気象研) 地上マイクロ波放射計のアンギュルスキャンによる降雨時の水蒸気場観測
- C303 古澤(秋元) 文江 (名大地球水循環) 陸域降水リトリーバルのためのEOF解析を用いた高周波マイクロ波射出率の導出
- C304 民田 晴也 (名大地球水循環) 低コストLaser disdrometer の開発 —強雨中の計測性能—
- C305 足立 アホロ (気象研) レーダーシミュレーターによる偏波パラメータ計算結果のレーダー観測への応用 (その4) 偏波パラメータを用いたC-band レーダーの自己校正手法の検討
- C306 光武 伸悟 (防衛大地球海洋) 三沢の地上・高層データを用いた衛星雲判別手法の検証
- C307 平沢 尚彦 (極地研) 北海道陸別町における2重防風柵(DFIR)を用いた降雪量観測
- C308 長澤 親生 (首都大システムデザイン) 1.6 μ mスキャンニングDIALによるCO₂濃度と風の観測
- C309 鈴木 睦 (宇宙研) JEM/SMILESによるBrO観測

D 会場

物質循環II

座長 : 大島 長 (気象研)

- D301 大方 めぐみ (AORI) 三次元離散雲の放射収支算定に関わる放射伝達解法の研究 (2)
- D302 関口 美保 (海洋大) 長期衛星観測データを用いた雲エアロゾル相互作用の強度の推定
- D303 青木 輝夫 (気象研) グリーンランド氷床上SIGMA-Aで観測された光吸収性積雪不純物
- D304 カトリ プラディーブ (CEReS) Observation of light absorbing dust aerosols in the free troposphere over the East China Sea region in the spring season
- D305 工藤 玲 (気象研) ライダーとスカイラジオメータから推定したエアロゾル光学特性の鉛直分布
- D306 青木 一真 (富山大理) 太陽放射観測から得られたエアロゾルの光学的特性の長期変動
- D307 兼保 直樹 (産総研) 自治体による保存試料を用いた地表へのrefractory carbon総沈着フラックスの長期レコード復元
- D308 小池 真 (東大院理) 春季東シナ海におけるエアロゾルの雲物理への影響と温暖SSTによる増大効果
- D309 大島 長 (気象研) 春季東アジア域におけるブラックカーボンの上方輸送過程と輸送経路
- D310 梶野 瑞王 (気象研) Modal Bin Hybrid Modelの開発と従来法との比較
- D311 Chen Ying-Wen (九大応力研) データ同化手法を用いたエアロゾルの週間予測システムの開発

A 会場

気候システムII

座長 : 小坂 優 (カリフォルニア大)

- A401 宮本 佳明 (理研計算科学) 全球非静力学モデルによって再現された深い湿潤対流の解像度依存性
- A402 川合 秀明 (気象研) 中緯度の海洋下層雲のパラメタリゼーション
- A403 庭野 匡思 (気象研) 2012年夏期の北西グリーンランドSIGMA-Aにおける積雪シミュレーション
- A404 平野 穂波 (三重大生物資源) どのCMIP3マルチ気候モデルが北極域の海氷減少と大気に関連性を最も再現しているか?
- A405 小坂 優 (カリフォルニア大) PJ パターンと夏季台風活動変動
- A406 小坂 優 (カリフォルニア大) 夏季北西太平洋における季節予測可能性の起源
- A407 小柴 厚 (放送大院文化科学) ハドレー・ウォーカー・モンスーン循環の亜熱帯高気圧変動への寄与

座長 : 小畑 淳 (気象研)

- A408 中村 哲 (極地研) 成層圏オゾン減少に伴う対流圏循環の変化におけるeddy feedbackの役割について
- A409 小畑 淳 (気象研) 巨大火山噴火が引き起こす気候炭素循環変動—気象研地球システムモデルによる解析—
- A410 シェリフ多田野 サム (東大大気海洋研) 最終氷期最盛期に氷床が風応力を通して大西洋子午面循環に与える影響
- A411 谷貝 勇 (元気象大) 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について (その5) —温暖化実験で現れた日本列島上の豪雨とモデルの系統誤差について—
- A412 谷澤 隼人 (北大院環境) 秋雨期の降水と水輸送に対する台風の影響
- A413 安藤 雄太 (三重大院生物資源) 2012/13年の寒冬とAO・WPパターン・日本周辺の海面水温との関係
- A414 埴和 優一 (岡大教育理科) 秋から冬にかけてのシベリアの寒気域の季節的な拡大過程に関する解析

B 会場

「台風のデータ同化研究」

I. データ同化による台風予測研究

座長 : 三好 建正 (理研AICS)

- B401 *榎本 剛 (京大防災研) 熱帯低気圧に伴う解析アンサンブル・スプレッドの変動
- B402 牛山 朋來 (土木研究所ICHARM) WRF-LETKFを用いた2011年台風12号・15号の降雨流出予測実験
- B403 国井 勝 (気象研) 海面水温の不確実性を考慮したアンサンブルカルマンフィルタによる台風予報実験

II. データ同化による台風プロセス研究

座長 : 沢田 雅洋 (東大大気海洋研)

- B404 *筆保 弘徳 (横浜国大) 台風発生予報の実現に向けて
- B405 和田 章義 (気象研) 海洋データ同化による海洋解析場が台風シミュレーションに与える影響
- B406 伊藤 耕介 (JAMSTEC/RIGC) 台風強度モデリングに向けたメソ4次元変分法データ同化システムの高度化

III. 台風研究におけるデータ同化の将来展望

座長 : 和田 章義 (気象研)

- B407 *山田 広幸 (琉球大理) 台風の強度と進路に対する内部コアの軸対称性の役割 —雲解像モデルに同化すべき台風の観測データとは何か?—
- B408 北畠 尚子 (気象研) 2012年に沖縄本島を通過した台風の特徴

総合討論 (15分)

*は基調講演 (各20分), それ以外は一般講演 (各15分).

C 会場

中高緯度大気

座長 : 山崎 哲 (JAMSTEC)

- C401 野本 理裕 (東大院理) 南極ブリザードの力学的研究 —南大洋の低気圧と大陸地形の役割—
- C402 田中 博 (筑波大CCS) 地球温暖化における北極温暖化増幅の役割再考
- C403 山崎 哲 (地球シミュレータ) 2010年7月のロシアブロッキングにおける高周波擾乱の寄与
- C404 岡島 悟 (東大先端研) 中緯度北太平洋における海面水温偏差の大気への強制の可能性とそのメカニズム
- C405 升永 竜介 (東大先端研) 黒潮・親潮海洋前線に伴う海面気圧極小と地表傾圧帯に見られる経年変動〜大気再解析データで表現される大気境界層構造の海面水温データへの依存性〜
- C406 古澤(秋元) 文江 (名大地球水循環) 夏季の沖縄域における乾燥大気の貫入現象に関する研究

大気境界層

座長 : 服部 康男 (電中研)

- C407 吉野 勝美 (全日空) 成田空港における水平ロール対流の構造
- C408 菅原 広史 (防大) 東京都心における二酸化炭素フラックス観測
- C409 近藤 裕昭 (産総研) 都市キャノピーにおけるフィードバック・パラメタリゼーション
- C410 中城 智之 (福井工大) 福井工業大学あわらキャンパスに設置されたウィンドプロファイラレーダーによる北陸沿岸域の降雨・降雪に関する局地循環の初期観測
- C411 大橋 唯太 (岡山理大生物地球) 愛媛県大洲市で発生する局地風「肱川あらし」(1) —地上気象観測—
- C412 重田 祥範 (立正大地球環境) 愛媛県大洲市で発生する局地風「肱川あらし」(2) —鉛直観測—
- C413 服部 康男 (電中研) 超高解像度数値気象モデルによる中立大気接地層乱流構造の再現 (PBLスキームとの比較を通じたLESのパフォーマンス評価)
- C414 伊藤 純至 (東大大気海洋研) MYNNモデルのダブルカウント問題
- C415 古屋 姫美愛 (京大院人間環境) Penman-Monteith 式における潜熱輸送プロセスについての考察

D 会場

大気力学

座長 : 高谷 康太郎 (JAMSTEC)

- D401 高谷 康太郎 (JAMSTEC) 位相依存性のないエネルギー変換の定式化の提案
- D402 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) 2012年8月に発生した顕著な北極低気圧の3次元構造と発達機構
- D403 西澤 誠也 (理研計算科学) 高解像度重力流実験でみられる不安定のフラクタル構造とそれによる混合
- D404 岩山 隆寛 (神戸大院理) 一般化された2次元流体系におけるKelvin-Helmholtz不安定
- D405 高麗 正史 (東大院理) 自転角速度ベクトルの水平成分により境界に捕捉されるKelvin波とRossby波
- D406 伊藤 享洋 (水戸地方気象台) 渦Rossby波の波数1の不安定成長解
- D407 安田 勇輝 (東大院理) くりこみ摂動法を用いた孤立渦対中における慣性重力波の自発的放射メカニズムの理論的解明
- D408 辻 宏樹 (九大院理) 強制の位置が渦の大きさに及ぼす影響について
- D409 山本 勝 (九大応力研) 金星中層大気GCM中の極渦の形成について
- D410 門脇 正尚 (東大大気海洋研) 火星大気大循環モデルを用いたダストストームの発生環境と時間発展に関する研究
- D411 杉山 耕一朗 (北大低温研) 木星大気の雲対流の直接数値計算: 雲対流の間欠性に関する考察
- D412 杉山 耕一朗 (北大低温研) 惑星科学研究センター (CPS) における知見アーカイブ

大会第4日 [5月18日(土)] 14:00~17:00 専門分科会

B 会場

「ポスト「京」に向けた気象・気候シミュレーションの展望」

趣旨説明(15分)

第一部 一般講演(各9分)

座長 : 三浦 裕亮 (東大院理)

- B451 瀬古 弘 (気象研) LETKFネストシステムを用いた2012年5月6日のつくばの竜巻のアンサンブル予報実験
- B452 黒田 徹 (JAMSTEC) 京でのメソ解析の現状と今後
- B453 国井 勝 (気象研) 京コンピュータを用いた900メンバーLETKF同化実験
- B454 デュク レ (JAMSTEC) Test of deterministic assimilation in NHM-LETKF
- B455 竹見 哲也 (京大防災研) 気象場を考慮した都市大気流れの建物解像LESモデリング

休憩 (10分)

第二部 招待講演 (各20分)

座長 : 河宮 未知生 (JAMSTEC)

- B456 三浦 裕亮 (東大・院理) 全球雲解像気候計算に向けて
- B457 渡辺 真吾 (JAMSTEC) 地球システムモデルの現況と将来展望
- B458 永戸 久喜 (気象庁数値予報) メソ数値予報の現状と将来展望
- B459 三好 建正 (理研AICS) 今後20年のデータ同化を考える
- B460 佐藤 陽祐 (理研計算科学) 計算科学から貢献する雲の本質的理解へ向けた将来展望

総合討論(20分)

大会第4日 [5月18日(土)] 14:00~17:00 専門分科会

C 会場

「気象庁データを利用した気象研究の現状と展望」

趣旨説明(5分)

余田 成男 (京大院理)

座長 : 岩崎 俊樹 (東北大院理)

- C451 *永戸 久喜 (気象庁数値予報) 気象庁のメソ数値予報における開発の現状と計画
- C452 *中川 雅之 (気象庁数値予報) 気象庁全球数値予報システム・アンサンブル予報システムの現状と計画
- C453 *向川 均 (京大防災研) 2010年夏季のロシアブロッキングのメカニズムと予測可能性
- C454 Matsueda Mio (University of Oxford) Early-warning products for extreme weather events using operational medium-range ensemble forecasts
- C455 福井 真 (東北大院理) 気象庁1ヶ月アンサンブルハインドキャストデータを用いた力学的ダウンスケールによるヤマセの予報実験

休憩 (10分)

座長 : 藤田 司 (気象庁数値予報)

- C456 *高村 民雄 (千葉大CEReS) 衛星ラピッドスキャンでみた積雲・積乱雲の発生・発達に関する研究
- C457 眞木 貴史 (気象研) 気象庁二酸化炭素分布情報を用いた衛星観測データのバイアス調査 (II)
- C458 岡本 幸三 (気象研) 衛星搭載風ライダーの観測システムシミュレーション実験 (OSSE)
- C459 *隈 健一 (気象庁総務) 気象分野における産学官連携 (アウトカムとサイエンス)

総合討論 (25分)

余田 成男 (京大院理)

*は招待講演 (各20分), それ以外は一般講演 (各10分).

D 会場

「CMIP5マルチモデルデータによる将来変化予測研究の展望」

座長：尾瀬智昭(気象研)・前田修平(気象庁気候情報)

- D451 荒川 理(筑波大生命環境) クラスタ解析によるCMIP5モデルの21世紀末海面水温変化パターンの分類
- D452 尾瀬 智昭(気象研) 21世紀末熱帯海面水温・降水量変化と中高緯度の海面気圧変化
- D453 植田 宏昭(筑波大生命) CMIP3/CMIP5における夏季・冬季アジアモンスーンの再現性と将来予測
- D454 原田 昌(気象庁気候情報) CMIP5モデルにおける冬季アジアジェットの将来変化
- D455 釜江 陽一(東大大気海洋研) 夏季東アジア広域循環場の将来変化に対する人為起源強制力およびSST上昇の寄与
- D456 西井 和晃(東大先端研) 秋雨期の大規模循環場の特徴とそのCMIP5モデルによる再現性
- D457 楠 昌司(気象研) CMIP5モデルによる梅雨の再現性
- D458 横山 千恵(東大大気海洋研) 梅雨期における日本付近の降水特性変化：TRMM PR観測から
- D459 金田 幸恵(筑波大) 梅雨期における日本付近の降水特性変化について ～CMIP5から～
- D460 佐藤 尚毅(東京学芸大) CMIP5マルチ気候モデルデータにおけるMJOの再現性
- D461 高橋 千陽(JAMSTEC) 冬季MJOに伴う北太平洋域ストームトラック変動のCMIP5マルチ気候モデル再現性と将来変化予測
- D462 河谷 芳雄(JAMSTEC) 複数のゾンデ観測及びCMIP5モデルに現れた赤道準2年振動の長期トレンド

大会第1日 [5月15日(水)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P101 横山 裕太郎 (九大院総理工) 2008年1月23-25日に急発達した二つ玉低気圧の数値シミュレーション
- P102 西川 はつみ (三重大院生物資源) 3隻同時観測で明らかとなった黒潮統流水温フロント上のメソ高・低気圧
- P103 柳瀬 亘 (東大気海洋研) JRA-55と雲解析情報図を利用したPolar Lowの統計的研究の可能性
- P104 安藤 直貴 (筑波大地球学類) 冬季本州内陸における多降水・多降雪の発現
- P105 渡邊 智也 (筑波大院生命環境) 梅雨前線帯で発生した弧状降水システムの再現実験
- P106 津口 裕茂 (気象研) 集中豪雨が発生する総観〜メソ α スケール環境場の統計解析
- P107 大塚 成徳 (理研計算科学) 気象庁非静力学モデルにより再現した2007年ジャカルタ豪雨期間中の降水系面積頻度分布に関する解析
- P108 清水 慎吾 (防災科研) 2012年5月6日に北関東で発生した竜巻をもたらした親雲の同化予測実験 - ドップラーレーダデータの同化インパクトと予測可能性-
- P109 岩井 宏徳 (NICT) COBRAにより観測された対流性降水に関連する風速場および偏波パラメータの変動
- P110 吉田 智 (阪大院工) フェーズドアレイレーダで観測された対流セルの発達過程と雷放電標定点の関係
- P111 北川 裕也 (防衛大地球海洋) 深い対流で起こるオーバーシュートの再現実験
- P112 大窪 拓未 (防衛大地球海洋) 積乱雲発生初期の観測 (1) - 積乱雲タレットの成長 -
- P113 柏柳 太郎 (日本無線) 積乱雲発生初期の観測 (2) - 雲レーダーと X-band レーダー観測の比較 -
- P114 林 修吾 (気象研) 山形県庄内平野の地上電界観測網を用いた発雷予測のための積乱雲の電気的特性の解析
- P115 西橋 政秀 (気象研) ソフトウェア無線技術を用いた雷放電位置標定装置の開発
- P116 濱田 篤 (東大気海洋研) レーダ反射強度または降雨強度で定義される極端現象に見られる特徴
- P117 辻野 智紀 (名大地球水循環) 2012 年台風 15 号 (Bolaven) に伴う多重壁雲の数値実験
- P118 山田 洋平 (JAMSTEC) NICAMで表現された熱帯低気圧の発達度合いの解像度依存性
- P119 中野 満寿男 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルによる2004年夏季の季節内変動再予報実験
- P120 猪上 淳 (極地研) 北極海上のラジオゾンデ観測網の実験的強化計画
- P121 本谷 研 (秋田大教育) 秋田県およびその周辺における最近3冬季(2010-11年, 2011-12年, 2012-13年)における積雪水量分布と降雪分布の特徴
- P122 須田 耕樹 (筑波大地球学類) AMeDASデータを使った冬季の天気界分布と変動
- P123 永野 良紀 (日大文理) オホーツク海高気圧の鉛直構造の客観分類
- P124 山崎 信雄 (気象大) 台風が日本にもたらした強雨の増加・弱雨の減少 (1951年 - 2011年)
- P125 竹橋 春江 (東京管区气象台) 東日本における大雨の長期変動
- P126 小濱 里沙 (東大気海洋研) ユーラシア域における消雪日と大気場の関係
- P127 スリストヨワティ レニ (Kobe University, BPPT) Diurnal Cycles of Rainfall and River Water Level in JABODETABEK (Greater Jakarta)

大会第1日 [5月15日(水)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P128 田中 実 (元気象研) 夏のmid-Pacific troughの東西変動と日本付近及びアジア-西太平洋の循環場の関係
- P129 村田 昭彦 (気象研) 地域気候モデルによって再現された極端な地上気温に対する補正手法の開発
- P130 小山 博司 (JAMSTEC/RIGC) MIROCアンサンブルデータ同化システムを用いた地表気圧・海面水温の同化実験
- P131 立入 郁 (JAMSTEC/RIGC) 安定化目標値設定に向けた社会経済シナリオに関する検討・情報収集
- P132 今北 詠士 (東京海上研究所) 季節予報データを用いた台風予測研究
- P133 弓本 桂也 (気象研) 気象庁アンサンブル予報システムで得られたアンサンブルの特性
- P134 山岸 孝輝 (RIST) 気候モデル放射カーネルのGPUへの移植と高速化
- P135 新美 昂平 (気象大) 海陸風の力学

大会第2日 〔 5月16日(木) 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P201 西野 逸郎 (中樞気象隊) 2013年1月14日の関東の降雪に関する一考察
- P202 渡邊 俊一 (東大大気海洋研) 衛星画像を用いた冬季日本海上で発生する渦状擾乱の発生・発達過程の分類
- P203 山田 芳則 (気象研) 北海道西岸帯状雲の形成に及ぼす利尻島と礼文島の効果に関する数値実験—2010年1月16-17日の事例—
- P204 牧草 ひとみ (高知大院理) 台風による高知県の強雨発生確率
- P205 鵜沼 昂 (京大防災研) 集中豪雨をもたらす降水システムの時空間特性
- P206 ウェチャヨン パリチャート (東北農研センター) The comparison of a Mesoscale Convective System between observation and JMA-NHM Simulations
- P207 南雲 信宏 (気象研) 夏季関東平野における積乱雲発生に先立つ局地前線の事例解析~2012年7月19日の観測事例とNHMの再現性の比較~
- P208 伊藤 享洋 (水戸地方気象台) スーパーセルの移動ベクトル推定法の検証
- P209 小司 禎教 (気象研) GPS/GNSSによる水蒸気非一様性の指標と突風や短時間強雨との統計的關係
- P210 野澤 知弘 (筑波大院生命環境) 孤立積雲の再現実験による温位擾乱とモデル対流雲との関係
- P211 岩井 宏徳 (NICT) ドップラーライダーとウィンドプロファイラで捉えた積乱雲発生前後の風速場
- P212 斉藤 貞夫 (気象研) 地上気象観測網で観測した孤立積乱雲がもたらす降水粒子の特徴
- P213 河田 雅生 (九大理) 様々な環境場におけるスコールラインの水収支解析
- P214 鈴木 智幸 (防衛省) ブルージェットの発生と親雷雲の放電特性
- P215 You Cheolhwan (名大地球水循環) A simple algorithm for unfolding of differential phase shift with dual polarization radar data
- P216 谷脇 和博 (なし) 気象庁メソ数値予報モデルによる渦の抽出
- P217 山浦 剛 (理研AICS) 梅雨前線帯の北進に対する台風の寄与
- P218 沢田 雅洋 (東大大気海洋研) 全球非静力学モデルNICAMを用いた台風の延長予報に関する数値実験
- P219 菅野 湧貴 (東北大院理) 温位座標を用いた寒気流出の研究
- P220 飯島 慈裕 (JAMSTEC) 2012/13ユーラシア大陸冬季の寒気形成とその日本への流出過程
- P221 田上 雅浩 (熊本大院自然科学) 同位体領域気候モデルを用いた冬季日本における水蒸気起源の解析
- P222 工藤 督右 (九大院理) 九州北部における梅雨期・盛夏期の降水起源解析
- P223 大垣内 るみ (JAMSTEC) MIROC-ESMをもちいた完新世中期のサハラ域の降水-MIROC 3と比較して
- P224 原口 慶子 (気象庁気候情報) エルニーニョ/ラニーニャ現象と日本の大雨発生頻度について
- P225 亀岡 喜史 (東京管区気象台) 太平洋数十年規模振動(PDO)と関東南部における極端指数の關係について
- P226 小池 百合子 (筑波大院生命環境) モンゴル北部における水蒸気のバックトラジェクトリー解析
- P227 高田 久美子 (NIPR/NIES) 地表面熱水収支の広域長期変動の解析

大会第2日 〔 5月16日(木) 〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P228 高橋 洋 (JAMSTEC, 首都大) 冬季日本海側における降水量に対する海面水温の感度に関する数値実験
- P229 大泉 三津夫 (気象大) NHRCMの陸面モデルに導入した土壌不凍水スキーム
- P230 石崎 安洋 (環境研) 簡易気候モデルを用いた将来予測における不確実性
- P231 栗原 剛 (明大院商) 季節予報を利用した「気象要素の地域差加算モデル」によるエアコン需要予測
- P232 大塚 成徳 (理研計算科学) 離散ベイズフィルタを用いたマルチモデルアンサンブルデータ同化手法
- P233 大泉 伝 (JAMSTEC/RIGC) 数値気象モデルNHMのスーパーコンピュータ「京」への最適化に関する考察
- P234 西川 雄輝 (東大大気海洋研) 高度座標系におけるthin-wall近似による地形表現スキームの評価
- P235 舛田 あゆみ (横浜国大) 二重回転円筒水槽における波動現象の研究 ～PIVによる波動の可視化と検出した流速の考察～

大会第3日 [5月17日(金)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 八木 綾子 (東工大院理工) ライダーの視線方向風速分布を利用した大気境界層流れ場における代表長さの推定
- P302 日谷 道夫 (気象庁) 周辺環境から見積もったAMeDAS観測所の粗度
- P303 清水 暁 (防衛大地球海洋) 代々木におけるフラックス観測
- P304 比良 咲絵 (気象大) 夜間下層ジェットの解析
- P305 陳 桂興 (東北大院理) A mesoscale super-high-resolution modelling on the sea-breeze horizontal convective rolls: The impacts of landuse and buildings
- P306 高根 雄也 (筑波大院生命環境) 関東平野内陸域で発生する猛暑とフェーンのマカニズム
- P307 塚本 実奈 (弘前大理工) 青森県六ヶ所村で実施されたヤマセの特別観測
- P308 高野 哲夫 (SnowCast/気象予報士会) 新潟県内における冬の季節風とフルード数, 降水域形成の関係
- P309 柿沼 亜衣 (筑波大院生命環境) 北陸地方・北関東地方で発生する高温に対するフェーン的气候学
- P310 加藤 隆之 (筑波大院生命環境) 斜面温暖帯の発生高度の時系列変化
- P311 田中 泰宙 (気象研) 汚染混合型黄砂の数値モデル研究: 2013年1月の大気汚染事例
- P312 田村 勇一 (名大院環境) 衛星ライダーを用いたサハラダストの大西洋域への輸送に関する研究
- P313 甲斐 憲次 (名大院環境) Temporal and Spatial Characteristics of Dust Outbreaks in Gobi Desert during Springtime from 1999-2010
- P314 清水 厚 (環境研) 球形粒子の光学的スケールハイトを利用した化学輸送モデルとライダー観測におけるエアロゾル鉛直分布比較
- P315 早瀬 百合子 (九大応力研) エアロゾルモデルSPRINTARSを用いたエアロゾル排出量データベースの差異に関する解析
- P316 高谷 怜 (東大院理) WRF-Chem数値モデルによる春季東アジアのエアロゾルの雲物理への影響評価A-FORCE観測による比較検証
- P317 松川 知紘 (気象大) 南大洋のウェッジルポリニアからの大気へのCO₂大量放出
- P318 山本 めぐみ (奈良女理) GOSAT衛星と航空機で観測されるシベリア域大気中メタン濃度の比較解析
- P319 山口 裕樹 (茨城大院理) リモートセンシングによる下部対流圏オゾン量導出のための検証観測
- P320 菊地 信弘 (環境研) GOSAT SWIR温室効果ガス濃度導出精度に対するBRDFの影響
- P321 松村 直紀 (九大院農) 液体炭酸人工降雨実験により孤島後方に発生した雨雲の検証
- P322 中前 久美 (NIES) Lauderにおけるプジェウエ火山噴火によるエアロゾル層のライダー観測結果について
- P323 田中 泰宙 (気象研) 超巨大火山噴火による気候変化の数値実験 -気象研究所気候モデルによるトバ火山噴火シミュレーション-
- P324 神 慶孝 (名大院環境) CloudSat/CALIPSOを用いたエアロゾル層内における氷粒子の微物理特性
- P325 石田 春磨 (山口大院理工) 明示的3次元放射伝達計算手法におけるマルチグリッド法の導入
- P326 徐 健青 (JAMSTEC) フィリピンLaoagでの地表面日射量・放射量観測(続)

大会第3日 〔 5月17日(金) 〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P327 朽木 勝幸 (気象研) MODISから推定したグリーンランドにおける積雪物理量の検証
- P328 大竹 秀明 (産総研) 気象庁メソモデルの日射量予測外れ時における雲のタイプの出現頻度
- P329 小田 僚子 (千葉工大) 2地点の屋外カメラによる雲の高度推定
- P330 杉立 卓治 (北大院環境) 気候監視のためのラジオゾンデ用水蒸気センサの開発 (第2報)
- P331 酒巻 洋 (三菱電機) 空間情報を用いたドップラーライダーのデータスクリーニング法
- P332 甲斐 浩平 (明星電気) RS-11GとRS92-SGPの比較観測
- P333 宮下 敦 (成蹊気象観測所) 東京近郊の視程日数の経年変化 - 成蹊気象観測所における半世紀の観測結果 -
- P334 山下 達也 (北大理) 初期火星大気中の主成分凝結対流の二次元数値実験 - 臨界飽和比と凝結核数密度に対する依存性 -

大会第4日 [5月18日(土)] 12:00~13:00 ポスター・セッション

- P401 有場 次郎 (東工大) ドップラーライダーで観測された流れ場の分類と特性
- P402 甲斐 憲次 (名大院環境) 地上ライダーを用いた日本の都市域における大気境界層の構造に関する気候学的研究
- P403 萩野谷 成徳 (気象研) 1日4回の衛星表面温度(LST)の観測値から日平均地表面温度等の推定
- P404 堀口 光章 (京大防災研) 中立に近い状態での接地層乱流の性状—都市近郊における観測より—
- P405 西 暁史 (筑波大院生命環境) 一般座標系を採用した数値気象モデル開発
- P406 出納 誠 (岡山理大総合情報) 海陸風が吹送する土地利用形態の違いと気温変化の関係について—岡山平野を例にして—
- P407 高野 哲夫 (SnowCast / 気象予報士会) 山形県内の冬の季節風と降雪傾向の関係
- P408 松本 真弥 (筑波大地球学類) 福知山盆地で観測された紀伊水道および若狭湾からの風の特徴
- P409 渡来 靖 (立正大地球環境) 埼玉県熊谷の猛暑日における関東平野の地上気温日変化
- P410 森 樹大 (東大院理) 沖縄県辺戸岬における雨水中のブラックカーボン濃度の長期観測
- P411 馬場 賢治 (酪農大環境) 黄砂が運ぶ生物由来物質の時空間解析 ~2012年春季の事例~
- P412 府川 明彦 (東京理科大院理) ラドン・トロン娘核種の測定による富士山頂に輸送されるエアマスの由来の推定
- P413 財前 祐二 (気象研) 中部山岳サイトで観測された東アジアからの人為起源エアロゾル
- P414 桐山 悠祐 (東京理科大院) ドップラーライダーを用いたエアロゾル濃度、混合層高度の推定および化学輸送モデルとの比較
- P415 石澤 みさ (環境研) A decadal inversion of carbon dioxide using the Global Eulerian-Lagrangian Coupled Atmospheric model (GELCA)
- P416 長瀬 友美 (奈良女子大理) クラスタ解析を用いたアジアにおけるメタン変動の研究
- P417 板橋 良平 (茨大院北研) 衛星からのUV・Vis同時分光観測による下部対流圏オゾン量導出シミュレーション
- P418 関谷 高志 (名大院環境) 高解像度全球モデルにおける成層圏—対流圏間オゾン交換とその長期変化
- P419 篠田 太郎 (名大地球水循環) 衛星データと衛星シミュレータSDSUにより示された雲解像モデルCReSSにおける雲氷の粒径に関する問題点
- P420 櫻井 万祐子 (名大院環境) HYVISで観測された熱帯圏界面層での巻雲粒子の特徴
- P421 澤田 淳也 (防衛大地球海洋) MTSAT2/Split-Windowでみた新燃岳噴煙の水平拡散
- P422 橋本 真喜子 (東大大気海洋研) GOSAT CAIイメージャーデータを用いたエアロゾル光学特性の多変量解析手法の開発
- P423 雪田 一弥 (気象大) 携帯型分光放射計による太陽分光放射照度観測を用いたエアロゾル光学特性の推定
- P424 増田 一彦 (気象研) ボロノイ型粒子モデルを用いた氷晶雲特性の推定精度
- P425 山田 恭平 (東北大院理) 館野における地表面下向き長波放射フラックスの55年変動
- P426 土居 七奈美 (防衛大地球海洋) 空気潤滑法で生成される泡の光の反射率について
- P427 杉立 卓治 (北大院環境) 花粉センサを利用した雲粒子ゾンデの開発
- P428 伊藤 陽晃 (筑波大院生命環境) 冬期降水量データの補正が経年変化傾向に与える影響

大会第4日 〔 5月18日(土) 〕 12:00～13:00 ポスター・セッション

- P429 佐藤 香枝 (明星電気) モバイル通信可能な低価格一体型気象計による稠密観測の可能性の検討
- P430 瀬古 弘 (気象研) 気象庁現業ドップラーレーダで求めた屈折率の時間変化分布 (下層水蒸気分布のデータ同化に向けて)
- P431 花土 弘 (NICT) 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討
- P432 北 和之 (茨城大理) 福島第一原子力発電所事故により放出された放射性セシウムの大気再飛散メカニズムと飛散係数推定
- P433 川瀬 宏明 (JAMSTEC/RIGC) 「富山の気候変化と県民生活を考えるシンポジウム」における研究者と行政, 気象キャスターの連携 ～天気予報ライブ～